

平成30年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

明野中学校 氏名 (伊藤梨楓)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

中国の文化や習慣を学ぶ。
交流を深める。(かえり、学校の生徒)

◆ 印象に残った出会い

「ひと」との出会い

武漢外国語学校の生徒たちです。
学年、クラス間もあり、たくさん話しか
けてくれました。うれしかったです。
日本語クラスの一年生が授業の内容
を一生懸命日本語で教ってくれた
ことがとても印象的でした。

「もの」との出会い

「熱乾麺」です。日本では
食べたことのない味で、中国
らしいと感じました。味はお
店によって少し違ったので
たくさん食べましたが、全く
飽きませんでした。

「こと」との出会い

地下鉄に乗ったことです。おもに学校
から帰るときに利用しました。海外
の地下鉄に乗るのは初めてでした
が、乗車する時に切符ではなく
コインを使いながら、日本と違うところ
があったことがあって楽しかったです。



◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後にかきたいこと

今回学んだことはたくさんありますが、その中でも学ばせてもらったことは「人の優しさ」です。武漢の人たちはとても優しく積極的に案内してくれたり、たくさん話しかけてくれたりして、とても温かい気持ちになりました。また、言葉が伝わらなくても色々な方法で伝えてくれたりしてくれました。今回の留学で「人の優しさ」を学ぶことができたので、私も今まで以上に意識して人に優しくしていきたいです。

平成30年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

明野中学校 氏名 (岩田倫)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

中国のことをあまり知らないのでも、武漢での留学を通して日本とは違う文化や歴史を詳しく学びたいのと、たくさん友達を作りたいです。

◆ 印象に残った出会い

「ひと」との出会い

去年の6月に私の母にホームステイをした王さんです。私が、最初、武漢での生活に慣れるのに不慣れだった時、真剣に相談にのってくれました。中国に、そういう親友ができたのがうれしかったです。

「もの」との出会い

たくさん中華料理を食べました。辛いものが苦手で飽食類が食べられない私に、辛さをおさえた中華料理をすすめてくれました。本場の料理もたくさん楽しむことができました。

「こと」との出会い

私は、今回初めて、太極拳を体験しました。最初、動きの真味がわからなかったけれど、太極拳の先生に使う時や動きの真味を教えてくださいました。ますます楽しくなると思います。



◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後にかきたいこと

どこの国でも、ホームステイをしたいという思いは以前からありましたが、今まで経験したことがなく、今回このようにして、中国、武漢での交流ができて、うれしかったです。武漢外国語学校の生徒の皆さんは、優しく、元気です。真面目で、ワタシの周りをとても良く、わからないことがあっても質問をしてくれ、素直な人たちがかりました。そんな環境の中で一週間学ぶことができたのは、貴重なことだと思います。今回の交流で、違う国の人とも友達になれることの喜びを知ることができたので、これから、出会う人とも友誼を築いていきたいです。

平成30年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

明野中学校 氏名(小野 由佳里)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

少しでもたくさんの人と交流して、中国の文化や歴史、そして生活習慣について学ぶこと

◆ 印象に残った出会い

「ひと」との出会い

私が一番印象に残っているのは、ホームステイファミリーとの出会いです。空港で私の名前が書いてある看板を作ってくれたり、たくさんのお手作りの料理を振る舞ってくださったりしました。

「もの」との出会い

私は湖北省博物館に展示されている世界文化遺産が印象的でした。また、展示されている物の状態がとても良くてその上写真撮影が許可されていたため、写真におさめることもできました。

「こと」との出会い

初めて「太極拳」を教えることができました。私は習う前空手の型みたいなものかと思っていましたが、やってみると全く違いました。空手の型より、足や手の動かし方で様々なものを表現するところです。



◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後にかきたいこと

私のホームステイファミリーはとても丁寧な日本語を話す方々で改めて言葉遣いや気遣いの大切さに気付くことができました。私自身もこれからは、今まで以上に後輩や友だちに発する言葉や行動をより丁寧に優しいものにしていきます。

私の今回の交換留学を支えてくれた父や先生、市役所の方にもとても感謝しています。

平成30年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

明野中学校 氏名 (後藤紫草)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

外国の友だちをたくさん作り、中国の文化や歴史をしっかりと学ぶ

◆ 印象に残った出会い

『ひと』との出会い

中国の人はみんな親切で授業の時とかも積極的に話しかけてくれてうれしかったです。ホームステイ先の邓晓玲さんと受け入れた殷佳琳さん、それらの両親との奇跡的な出会いを大切にしたいです。

『もの』との出会い

食べ物は、ほとんどの物が口に合い、とてもおいしかったです。私は7日間のうち4日連続で違う種類のタピオカミルクティーを飲みました。1つのタピオカや味が違い、とても新鮮でした。

『こと』との出会い

「中国では食べ散らかすことがおいしい」という表現で作ってくれた人への礼儀と聞いていたので、自分もそのマナーに従って散らかして食べてみました。楽しくおいしく食べることができたのでよかったです。



◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後に生かしたいこと

私は、武漢に一週間留学してきて、「意志をはっきりと伝えることの大切さ」を知りました。また言葉が通じないからこその人の気持ちを考えて行動するようになりました。この経験を忘れずに大切にしようと思います。そして、どの国のことを理解しようと努力することを続けていきたいです。これまでただの「隣の国だった中国が大切な友達が住んでいる国」に変わりました。

平成30年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

明野中学校 氏名(松本 航輝)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

・中国の生活や文化、日本との違いなどを学びたい。

◆ 印象に残った出会い

『ひと』との出会い

ホームステイ先の家族の方や
武漢外国語学校の1・2・3年生
の日本語クラスの皆さんと仲良くな
れて、言語や国が違っても
深く交流が出来るんだなあ
と思いました。

『もの』との出会い

大量生産ができるため、物価
が安く、食べ物は鳥獣魚介類
が多かったです。辛い物ばかりでは
なく、辛い物や甘い食
べ物なども多く、日本の中華料
理よりおいしく感じました。

『こと』との出会い

初日空港に着いた時、少し
不安だったけれど、笑顔で
ホストファミリーの人たちが迎
えてくれて、とてもうれしか
たです。最終日は別れるのが
とてもさみしかったです。



◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後に生かしたいこと

交流をする前と後では、中国の印象も大きく変わり、一週間
留学すると、中国の良い所はもちろんだ、日本の気付かなかった
良さも見えました。このことをきっかけに日本と中国の関係
などにも興味を持ちました。留学してみると、中国は親しい
人が多く、食べ物などもとてもおいしくて、また行きたいな
と思いました。武漢の大学にも留学してみたいです。